

## 2025年4月入学 広島市立大学大学院芸術学研究科（博士後期課程）入試における 変更について（予告）

### 1 概要

芸術学研究科（博士後期課程）の入試において、アドミッション・ポリシーにある国際文化交流に関する要素を総合的に評価するため、試験内容及び配点等を次のとおり変更します。詳細については、2024年11月に公表予定の学生募集要項でご確認ください。

### 2 主な変更点

- （1）外国語試験（筆記試験）を取りやめ、英語又は日本語の外部検定試験の成績証明書等を出願書類として提出するよう求めます。
- （2）口述試験の配点を100点から200点に変更します。

### 3 変更時期

2025年1月実施予定の2025年4月入学 広島市立大学大学院芸術学研究科（博士後期課程）入試から変更します。

詳細は次のページ以降をご覧ください。

#### 【参考】芸術学研究科アドミッション・ポリシー

- 美術、デザイン、工芸に関する高度な創造や表現を行うために、卓越した制作・研究能力を身につけたい人
- 自らの創造や表現の幅を広げるために、多様な素材や技術に関する専門的な知識を学びたい人
- 芸術理論研究を通して、芸術に対する高度な感性と思考力を身につけ、幅広い芸術文化に関わる専門的な知識・研究能力を身につけたい人
- 地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たすために、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を身につけたい人

【変更後】

(1) 出願書類等 (新たに追加となるもの)

出願に必要な書類等	作成方法
外部検定試験の成績証明書等	<p>2022年4月1日以降に実施された以下の外部検定試験のいずれかを受験し、成績を証明する書類(点数(スコア)及び受験者氏名が記載されたもの)を提出してください。</p> <p><b>【日本語を母語とする人】</b>            TOEIC®L&amp;R (IPテスト及びIPテスト(オンライン方式) ※を含む)            ※ IPテスト(オンライン方式)は、オンラインでテストを実施している時に、試験監督者がカメラ映像等で受験者本人を確認かつ監視をしているもののみ認めます。</p> <p>① 公開テスト            受験者本人宛に送付された公式認定証(紙)の原本とそのコピー(原本は受験票に同封して返送します。),又はTOEIC公式ウェブサイトからダウンロードしたデジタル公式認定証を印刷したもの</p> <p>② IPテスト            スコアレポート(個人成績表)の原本とそのコピー(原本は受験票に同封して返送します。)</p> <p>③ IPテスト(オンライン方式)            テスト結果提出届兼誓約書(注)及びインターネット上でのテスト結果画面表示を印刷したもの</p> <p><b>【日本語以外を母語とする人】</b>            以下のいずれかの試験の成績証明書等を提出してください。</p> <p>① 日本語能力試験(JLPT)の成績証明書の原本とコピー又は合否結果通知書の原本とそのコピー(原本は受験票に同封して返送します。)</p> <p>② 日本留学試験(EJU)[本学が指定する科目「日本語」(「聴解・聴読解」,「読解」,「記述」)を受験すること]の成績確認書を印刷したもの</p>

(注): 本学所定の様式「テスト結果提出届兼誓約書(TOEIC®L&R IPテスト(オンライン方式))」を本学ウェブサイトからダウンロードし、印刷して使用してください。

(2) 学力検査等 ※下線部が変更部分

本学における外国語試験（筆記試験）は実施しない。

専攻	研究領域	試験内容及び方法等	
総合造形芸術	全研究領域	口述試験	<p>プレゼンテーション及び質疑応答を行う。</p> <p>試験時間は1人20分程度。うち、プレゼンテーション用レジュメに基づいて受験者が3分程度のプレゼンテーションを行う。</p> <p>試験会場へのレジュメの持ち込みは可能。</p> <p>プレゼンテーション及び提出された全ての出願書類に基づいて質疑応答を行う。</p> <p>※質疑応答の中で、英語又は日本語の外部検定試験の成績証明書等を参考に、国際文化交流に関する意欲、計画性について問う。</p>

(3) 配点及び評価基準 ※下線部が変更部分

アドミッション・ポリシーに基づき以下の項目を評価する。

採点項目	評価基準	配点
作品・資料	テーマ性、構想力、独創性、表現力等をみる。	200
小論文	論理的構成力、文章表現力等をみる。	200
口述試験	プレゼンテーションの内容、研究計画書の内容、研究意欲と研究能力、論理的説明能力をみる。また、外部検定試験の成績証明書等を参考に、国際文化交流に関する意欲、計画性をみる。	200
合計		600

【参考：現行（変更前）】

(1) 学力検査等

専攻	研究領域	試験内容及び方法等	
総合造形芸術	全研究領域	外国語試験	日本語を母語とする人は英語を、日本語以外を母語とする人は日本語を選択すること。各自の辞書持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。
		口述試験	<p>プレゼンテーション及び質疑応答を行う。</p> <p>試験時間は1人15分程度。うち、プレゼンテーション用レジュメに基づいて受験者が3分程度のプレゼンテーションを行う。</p> <p>試験会場へのレジュメの持ち込みは可能。</p>

(2) 配点及び評価基準

採点項目	評価基準	配点
作品・資料	テーマ性、構想力、独創性、表現力等をみる。	200
小論文	論理的構成力、文章表現力等をみる。	200
外国語	読解力、翻訳能力をみる。	100
口述試験	プレゼンテーションの内容、研究計画書の内容、研究意欲と研究能力をみる。	100
合計		600